

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	<小・29> いわき市立綴小学校
<実施日>	平成 27 年 11 月 6 日 (金)
<実践教科等>	1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ( )
<実践内容>	<p>1 題材名 第1学年 「ほうしゃせんって？」</p> <p>2 ねらい 放射線についての概要を理解し、生活において注意しなければいけないことがわかる。</p> <p>3 学習の流れ</p> <p>(1) 放射線や放射性物質について知る。 (除染情報プラザ紙芝居「ホウシャ線ってなんだろう!？」を使用)</p> <p>① 言葉について (放射線、放射性物質、放射能)</p> <p>② 放射線の性質と体への影響について</p> <p>(2) 生活の中で自分たちができることを話し合う。</p> <p>(3) 放射線についてまとめ、感想を発表し合う。</p>
<成果>	<ul style="list-style-type: none"><li>紙芝居を使ったことで、1年生でも興味をもって学習に取り組むことができた。</li><li>授業前、放射線という言葉聞いたことはあり、なんとなく危険だというイメージをもっている児童が多くいたが、学習したことで少し安心したという感想を発表していた。</li><li>これまで以上に、手洗いやうがいをしっかり行う児童が増えた。</li></ul>
<課題>	<ul style="list-style-type: none"><li>紙芝居は、内容的に1年生には難しい部分もあった。同じ除染情報プラザで現在は低学年向けの「ふくろう先生のほうしゃせんきょうしつへようこそ」という紙芝居が作成されているので、今年度はそれを活用して授業を行いたい。</li><li>紙芝居を見る、話を聞くといった児童にとっては受け身の授業展開であったが、もっと体験活動やゲームを取り入れるなどの工夫をする必要があった。</li><li>低学年の児童は、震災当時の記憶があまりないこともあり、放射線に対する意識は低い。必要以上に恐怖心を抱かせないようにしながら、正しい知識を獲得させる必要がある。</li><li>身近にできることとして、うがいや手洗いの大切さを話し合わせたが、継続していけるように定期的に振り返らせる必要がある。</li></ul>